

1984 (昭和 59) 年

1. 27 昭 58 年度末手当要求書提出。(基本給+家族手当+住宅手当) ×1.25 ヲ月
2. 4 第 11 回教研集会。於：理工学部 9 号館。
報告「一般教育について」松井静夫(理)
「農獣医学部の教育を考える集いについて」長谷川勝男(農)
「付属高校の状況と推薦制度について」織田規世志(豊)
2. 7 昭弘年度末賞与協定締結。団交 3 回後。
(基本給+家族手当) ×1.0 ヲ月+一時金(基本給+家族手当) ×0.07 ヲ月
2. 9 「高校教員も定期異動」について。河野人事課長より概略次の説明。
 - ・教員の資質の向上と活性化のため。
 - ・定期異動として 4 月 1 日に行う。
 - ・異動を希望する者及び年齢構成、教科構成上必要と判断される者。
 - ・今回は通勤時間一時間半内を目途とする。しかし、将来は一度は動いてほしい。
2. 29 「財形貯蓄についての申し入れ」提出。
4. 10 緊急アピール「新たな段階としての第 6 回総長選挙を迎えて」発表。
4. 13 「日本大学総長選挙規則及び日本大学総長選挙管理委員会規程の改正に関する要求書」提出。
権田降富総長選挙管理委員会委員長あて「第 6 回総長選挙に関する要望書」提出。
4. 23 「賃金及び教育条件・研究条件・労働条件に関する要求書」提出。
ベ・ア 基本給(定昇後) ×7.0%
4. 27 昭 59 夏季一時金要求書提出。(基本給+家族手当) ×2.3 ヲ月+一律 10,000 円
5. 10 昭 59 夏季賞与協定締結。(基本給+家族手当) ×2.35 ヲ月+一律 10,000 円
5. 30 「速報」379 号記事「サバティカルイヤーの成果」。
6. 11 団交終了後、鶴沢準備委員長(副総長)が大学創立 100 周年記念事業について説明。
6. 12 「組合報」92 号記事「新しい段階にふさわしい総長は誰か。
総長候補者への公開質問状とその回答」。
6. 12 昭 59 ベ・ア等協定締結。団交 6 回後。基本給(定昇後) ×1.4%
- ※6. 25 総長選挙：加藤涉 725 票、堺毅 182、高梨公之 633、妻倉昌太郎 536、
有効投票数 2036、無効投票数 23、白票 19、無効票 4
- ※6. 29 総長選挙決戦投票。
7. 10 慶弔意規程改正。8 年ぶり。
7. 14 第 21 回定期総会。於：理工学部 9 号館。委員長 古賀義弘(習)
10. 27 昭 59 年末一時金要求書提出。
(基本給+家族手当+住宅手当) ×3.8 ヲ月+一律 60,000 円
10. 27 私大教連第 7 回定期総会。須原祥介氏(経済)が執行委員に選出される。
11. 13 団交。高校教員の人事異動について。
11. 16 昭 59 年末賞与協定締結。
(基本給+家族手当) ×3.2 ヲ月+一律 10,000 円 +一時金(基本給+家族手当) ×0.05 ヲ月
11. 26 「組合報」95 号記事。「緊急アピール 付属中・高校教員の強制配転に反対する。